



はじめに

令和7年度は、昨年に宣言をした「勝浦市ゼロカーボンシティ」の実現のため、脱炭素につながる暮らしを推進する「デコ活宣言」を行いました。食品ロスの削減の取組の一つとして、フードドライブを年4回実施し、合計で716kgもの食品を寄付頂き、市内の支援団体や関係機関に寄贈いたしました。また、勝浦市における藻場の保全・再生及び創出を図るため、勝浦市藻場保全対策協議会を5月に設置し、12月には藻場保全活動においてジャパンブルーエコノミー技術研究組合（JBE）より「Jブルークレジット®」認証を受けました。今後も黒潮と房総丘陵によって育まれてきた自然と文化を未来に引き継ぎ、市民、事業者の皆様と一緒に脱炭素社会を目指して取り組んでまいります。

また、令和3年に「勝浦市太陽光発電設備の適正な設置及び管理に関する指導要綱」を制定しましたが、昨今のメガソーラーの諸問題から、改めて地域との共生や環境への配慮を大前提とした、自然環境の保護、安全性の確保、景観の保護が必要となっており、国や地方自治体には不適切な事業に対して、厳格に対応することが求められています。

これからも勝浦の豊かな自然と市民の安全な生活を守るため、より一層、環境対策を推進してまいりたいと考えています。

この環境白書2025は、主に2024（令和6）年度における本市の環境の現状と環境保全に関する施策の概要をとりまとめたものです。

市民の皆様におかれましても、本書を通じてさまざまな環境問題に興味関心を持っていただければ幸いに存じます。

令和8年3月

勝浦市長 照川 由美子